

ガイドラインに基づく「事業者向け放課後等デイサービス自己評価」
及び「保護者向け放課後等デイサービス評価」の実施結果について
児童発達支援事業所 ぱすてる

1 評価の実施にあたって

当事業所が平成28年4月にオープンし2年が経過しようとしています。

少しずつ活動内容も充実し、子ども達も楽しく過ごすことが出来ています。

ここでガイドラインに基づき自己評価及び保護者評価を実施することで、今後の方向性を見出しより良い支援が出来るよう努めていきたいと考えます。

○実施時期 両調査とも平成30年1月末まで

○実施対象 事業所職員 利用児童保護者様（兄弟で利用されている場合は一枚のみ調査票配布）

平成30年1月末現在、児童発達支援の利用児童はなし。

○調査項目 厚生労働省のホームページ「放課後等デイサービスガイドライン」参照

2 「事業者向け放課後等デイサービス評価」結果について

詳細は、事業者向け放課後等デイサービス自己評価表の改善目標、工夫している点などの欄に記入。

3 「保護者向け放課後等デイサービス評価」結果について

○ 環境・体制整備について

スペースについては、現在、利用人数がすくないので室内においては、1Fのみを使用している。

今後利用児童が増えた場合は、安全面に配慮しながら2Fの利用も検討したい。建物の構造自体の改善は時間が必要。

○ 適切な支援の提供

成人の施設との交流はあるが、障害の無い子供との交流はない。

こここのところは、今後どうすべきか考えていきたい。

○ 保護者への説明責任

個別支援計画の説明は、口頭での説明が不十分なところがあった。もう少し丁寧に見直しの時に説明していきたい。

○ 非常時の対応

緊急時対応マニュアルは作成されている。感染症対応マニュアルはスタッフ会議行い記録もあるが、マニュアルは、未作成。防犯マニュアルも未作成。今後、作成していきたい。

避難訓練は、年3回実施しているが、全員が日々利用していただいているわけでないので伝わらない部分もある。今後広報誌などで発信していきたい。

○ 満足度

満足度は、概ね高い評価をいただいている。利用児童に楽しんで通所していただき保護者様のご期待に沿えるよう今後もスタッフ一人ひとりが日々精進していきたいと考えている。

※ 今回の調査により以上の結果と今後の目標を得る事ができました。今回ご協力をいただきました保護者の皆さまありがとうございました。